

コラム

編集・発行：金浦区自治会
発行日：2021. 10. 1

金浦自然との共生シリーズ⑨

文責：波多野 哲哉



この標本箱の虫は、ほとんどがオオセンチコガネで、青丸の部分だけ、別種のセンチコガネが並んでいます。さて、多くのオオセンチコガネを見て気づくことがありますか？・・・そうですね、いろいろな色がありますね。基本的な色は「金赤紫色」です。朝来市ではたまに「金緑色」を見ますが、「金藍色」はほとんどいません。これは地域による個体変異というもので、上の緑系と青系の標本は奈良県の大峰山付近で採集したものです。マニアの間では「三色」を集めることが夢です。「三種の神器」なんて言ったりして人気の虫なのです。さてタマムシの頁でも言いましたが、この虫も光の干渉（プリズム現象）による「構造色」です。だから微妙な個体差によって屈折する角度が違うので人の目には赤や緑や青に見えるというカラクリで、基本構造はほとんど変わらないのですね。最後にこの標本箱の中央にあるオブジェは？実はオオセンチコガネのエサを表しています。そう・・・ウンチです！彼らは森の「分解者」として重要な働きをしている、「緑の下の力持ち」的な大事な虫なのです。